

# 【平泉商工会】経営発達支援事業 評価シート

《評価基準》 A：目標を達成することができた（100%以上）  
 B：目標を概ね達成することができた（80～99%）  
 C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）  
 D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

## I 経営発達支援事業の内容

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること（指針③）	①観光客数による調査分析	四半期	四半期	入込数データを収集し、経営計画作成支援に必要な資料として調査・分析を行った。	A
	②小規模企業景気動向調査の実施	毎月	毎月	全国連調査に毎月回答し、その報告書を経営計画作成支援に必要な資料として調査・分析を行った。	A
	③岩手経済研究機関誌による情報収集	毎月	毎月	毎月情報収集し、経営計画作成支援に必要な資料として調査・分析を行った。	A
	④商工会報による情報提供	四半期	4	商工会報による情報発信を行った（全世帯配布1回、会員専用1回）。さらにHPにも掲載した。	C
	⑤ホームページ等による情報発信	四半期	1	各種の情報提供としては随分、更新し情報発信したが、「地域動向調査結果」の公開は実施しなかった。	D
2. 経営状況の分析に関すること（指針①）	①巡回件数（年）	800	600	巡回指導により、施策の周知、さらには補助金、助成金等の取組み支援を実施した。	B
	②ネットde記帳利用事業者数	55	40	ネットde記帳を活用し、いつでも経営状況の把握、分析ができるよう処理を行った。	C
	③経営状況の分析事業所数	50	40	ネットde記帳のデータを経営計画作成支援に際に活用した。	C
3. 事業計画策定支援に関すること（指針②）	①経営計画作成セミナー参加者数	20	11	集団セミナーは実施しなかった。	D
	②補助金等申請支援数	20	22	持続化補助金16、経営革新3、もの補助1、町補助4	A
	③マル経融資件数	10	10	経営指導員1人5件以上の目標	C
	④経営発達支援融資件数	1	0	案件無し	D
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること（指針②）	①経営革新計画認定者数	4	1	経営革新計画策定支援3社に対し実施し、3社とも計画認定を受けた。	C
	②創業者数	2	1	「ひらいずみ創業塾」を4日×2時間開催し、12人が受講した。	C
	③各種制度認定後のフォローアップ支援数	37	135	各種補助金採択後の支援を延べ218回行った。	A
5. 需要動向調査に関すること（指針③）	①観光客による需要動向調査	四半期	無	需要動向調査として実施しなかった。	D
	②岩手経済研究機関誌による業種別需要動向情報収集	四半期	12	毎月情報収集し、経営計画作成支援に必要な資料として調査・分析を行っている。	A
	③金融公庫メルマガによる需要動向情報収集	毎月	12	毎月情報収集し、経営計画作成支援に必要な資料として調査・分析を行っている。	A
6. 新たな需要に寄与する事業に関すること（指針④）	①平泉ブランド認証商品数	80	62	2/25に特産品改良のための個別相談会を実施し4者が受講した。	C
	②ネット通販取引件数	90	23	31年3月末で事業を廃止した。	D
	③ニッポン全国物産展出展者数	2	2	ニッポン全国物産展に2者が出展し、それぞれ商品PRを行った。	A
	④ITスキルアップ講習会開催	1	無	2/18にIT活用セミナーを開催し10名が受講した。さらに2/17ホームページ活用個別相談会を実施し4者が受講した。	A
	⑤マスコミへのプレスリリース	毎月	21	事業の都度実施し、新聞掲載結果を13回県連へ報告した。	A

## II 地域経済の活性化に資する取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 平泉ブランド認証商品による小規模事業者支援	①平泉ブランド認証商品数	80	62	2/25に特産品改良のための個別相談会を実施し4者が受講した。	C
	②ネット通販取引件数	90	23	31年3月末で事業を廃止した。	D
2. 中心市街地賑わい創出による小規模事業者支援	①町なか商店街活性化委員会の開催回数	4	2	委員会を3回開催し、市街地賑わい創出のための検討をした。	C
	②賑わい創出イベントの回数	2	1	第5回中尊寺通りホコ天まつりを開催し、中心市街地の賑わい創出を図った。	C
	③のれん看板の設置店数	20	21	Facebookを活用し店舗のPRを実施した。	A

## III 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

事業	項目	30年度		実績	評価
		目標	実績		
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	①経営改善貸付連絡会議参加	2	2	経営改善貸付連絡会議に2回に参加し、得られた情報については職員間で共有し、小規模事業者の金融指導の際に活用した。	A
	②中小基盤整備機構の活用	1	1	機構主催の研修に経営指導員1人が参加し、得られた情報については職員間で共有し、小規模事業者の経営指導の際に活用した。	A
	③地域内金融機関との情報交換会	2	2	平泉町創業支援ネットワーク会議に2回出席し、金融機関と情報交換を実施した。	A
	④町行政との情報交換会	1	随時	平泉町観光商工課とは毎日のように綿密な連携、情報交換をしている。その成果として平泉町と共同申請した第2期経営発達計画と事業継続力強化支援計画が認定された。	A
2. 経営指導員の資質向上等にかんすること	①研修会参加による資質向上	8	14	岩手県商工会連合会主催研修に延べ13人、中小機構研修に1人参加し、資質向上に取り組んだ。	A
	②OJTによる取組	随時	随時	通常業務の中で実施してきた。	A
	③職員全員による支援ノウハウの共有	12	12	毎月1回、職員会議を開催し、小規模事業者支援のための情報共有を図った。	A
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	①評価委員会の設置による事業の評価検証	1	1	新型コロナウイルス感染症に伴い年度内の実施は避けた。次年度に入り開催予定。	D
	②職員会議による進捗状況の確認と検証	12	12	毎月1回の職員会議の中で進捗状況の確認と検証を行った。	A